

すかい

地域を見つめる経済情報誌

長野しんきん 北信地区経済動向

2023
令和5年
5-20
No.609

「すかい」(sky: 空)は、北信地区経済の空模様を展望しながら、経済面からとらえた身近な情報をおとどけます。

月例調査レポート



長野市 千曲川堤防 第25回長野マラソン

長野オリンピック開催を記念して1999年から始まった長野マラソン。当初はアルペン会場の山ノ内町をスタートする標高差240.5mのコースでしたが、第6回大会からは長野市内のみのコースとなっています。軽井沢G7外相会合の関係で、4月23日開催と一番遅い日程となった今大会。桜や桃の花は無くても、4年ぶりに戻ってきた沿道の声援を受けながらランナーはゴールを目指します。

- 長野しんきん 月例調査レポート 2
- 企業アンケート「人手不足」② 6
- インタビュー 変革期の経営ビジョン 8
- 北信濃 明治時代の風景 (14) 問御所町・新田町・西後町周辺 ... 10

「すかい」は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます [長野信用金庫 すかい](#)



これからも、ずっといっしょに、このまちで



 長野信用金庫

概況 全産業

生産は2カ月ぶりの上昇 前年同月比は2カ月連続の低下

◇2023年2月の長野県鉱工業指数

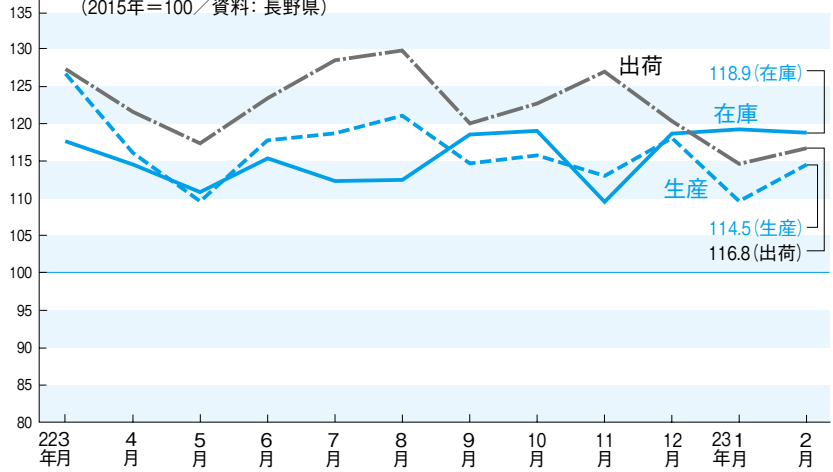
(速報：季節調整済指数)

生産は114.5(前月比+4.5%)で2カ月ぶりの上昇、出荷は116.8(同+1.8%)で3カ月ぶりの上昇、在庫は118.9(同▲0.3%)で3カ月ぶりの低下となりました。

◇前年同月比(原指数)

生産は113.8(前年同月比▲0.8%)で2カ月連続の低下、出荷は115.9(同+0.2%)で2カ月ぶりの上昇、在庫は121.4(同+0.6%)で17カ月連続の上昇となりました。

●長野県鉱工業の生産・出荷・在庫指数(季節調整済)の推移
(2015年=100/資料：長野県)



- [生産] 上昇…情報通信機械、輸送機械、電気機械など11業種
低下…電子部品・デバイス、化学、窯業・土石製品など6業種
- [出荷] 上昇…はん用・生産用・業務用機械、輸送機械、木材・木製品など10業種
低下…化学、情報通信機械、電子部品・デバイスなど7業種
- [在庫] 上昇…情報通信機械、プラスチック製品、はん用・生産用・業務用機械など7業種
低下…その他、電子部品・デバイス、化学など9業種

月例調査

全産業の「売上高」は横ばい

前回調査 2023年2月

◇4月調査による[北信地区の経済状況]

全産業(不動産業・旅館業除く)の売上高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(37

%)が2割増加、「減少」割合(31%)が3割増加、「不変」割合(33%)は6割減少、全体としては横ばいの状況です。

●売上高(生産高・施工高)前年比「増加・不変・減少」割合

矢印は前回調査比 (3ポイント以上の動き) ↑ 増加 → 不変 ↓ 減少
改善 不変 悪化

業種	前回	今回	改善	悪化	調査対象数	回収率	30人未満	30人以上
全産業	34.6 →	36.8 ↑	改善	悪化	192社	84.2%	72.9%	27.1%
製造業	33.9 ↑	30.6 ↓	悪化	改善	63社	78.8%	63.5%	36.5%
建設業	37.7 ↑	26.2 ↓	悪化	改善	61社	87.1%	82.0%	18.0%
卸小売業	23.3 →	53.4 ↑	改善	悪化	43社	91.5%	83.7%	16.3%
サービス業	71.4 ↑	28.6 ↓	悪化	改善	7社	87.5%	85.7%	14.3%
輸送業	44.4 ↓	22.3 →	悪化	改善	9社	90.0%	11.1%	88.9%
外食業	87.5 →	12.5 ↓	悪化	改善	8社	80.0%	37.5%	62.5%

製造業 食料品、金属加工品、一般機械、電気機械、自動車部品、精密機械

「生産高」金属加工・電気機械が増加するも、全体は減少

製造業の生産高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(34%)が4ポイント増加、「減少」割合(36%)が11ポイント増加、「不変」割合(31%)が15ポイント減少、全体として減少の状況です。

●生産高前年比「増加・減少」割合(%)

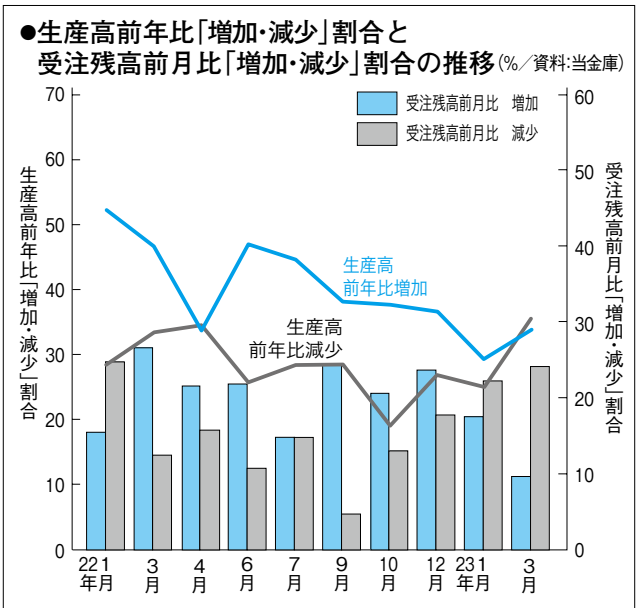
製造業	前回	29.7	45.3	25.0
	今回	増加 33.9	不変 30.6	減少 35.5
食料品		41.7	16.6	41.7
金属加工		35.7	35.7	28.6
一般機械		28.6	14.3	57.1
電気機械		20.0	60.0	20.0
自動車部品		25.0	25.0	50.0
精密機械		33.3	16.7	50.0

[業種別] 増加…金属加工・電気機械
横ばい…精密機械
減少…食料品・一般機械・自動車部品

[機械稼働] (前回比)稼働率 上昇
上昇割合 (13%) → 11%
下降割合 (21%) → 16%

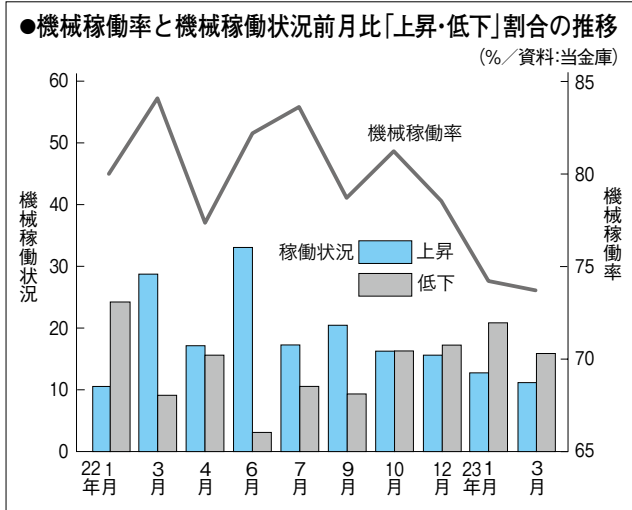
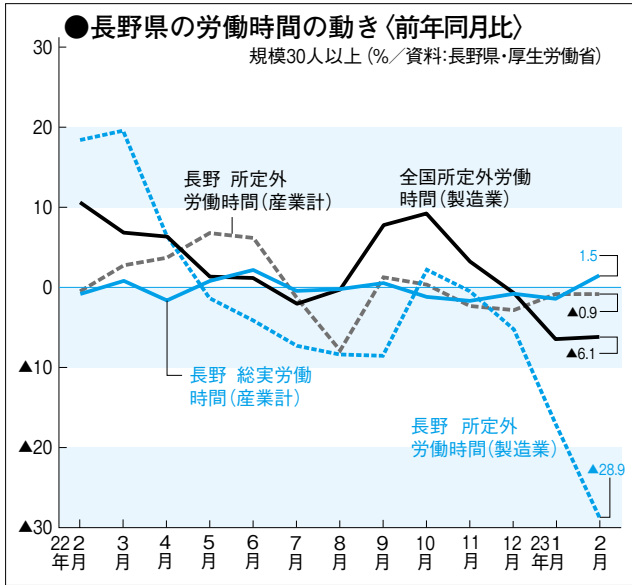
[受注状況] 受注量(前回比) 下降
増加割合 (18%) → 10%
減少割合 (22%) → 24%
受注残高(1.7ヵ月) → 1.6ヵ月

[受注基調] (前回比) 上昇
上昇割合 (14%) → 18%
下降割合 (29%) → 30%



企業からのコメント

- ☆2024年の「新札(渋沢栄一・津田梅子・北里柴三郎)」の発行に向けて、少しずつ受注が増えている。
(ATM用プリント基盤)
- ☆人の動きが活発になり、ゴールデンウィーク以降の売上げが増えることを期待している。
(味噌・漬物)
- ☆円安によって資源材料の入手難が続いていたが、ようやく“レンズ類”の入手が安定し、受注の消化が可能となった。このまま業界が安定すれば、改善が進むと思われる。
(眼科用視力計)
- ★老舗の遊技機メーカーが廃業し、業界の再編の影響が周辺機器メーカーにも及ぶ。
(ケース製造)
- ☆★コロナの支援物資、巣ごもり需要等の特別な要因がほぼなくなり、売上の推移は例年通りの動きに戻ってきている。
(乾そば)



建設業 総合建設、土木工事、建築、各種設備

「施工高」総合建設・建築が増加するも、全体は横ばい

概況

建設業の施工高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(38%)が3割増加、「減少」割合(36%)が5割増加、「不変」割合(26%)が8割減少、全体としては横ばいの状況です。

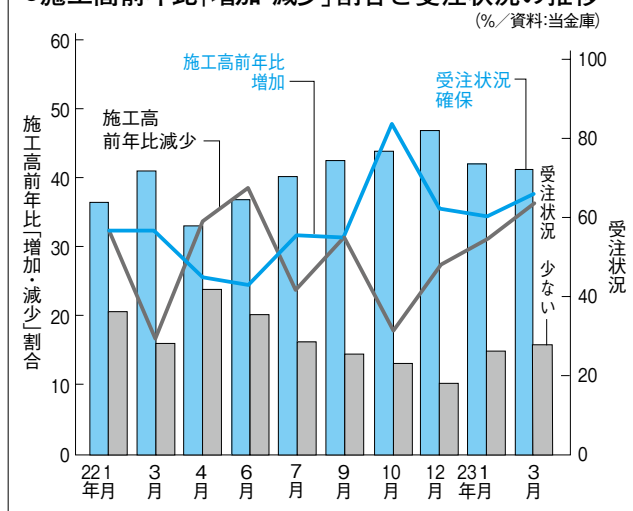
●施工高前年比「増加・減少」割合(%)

建設業	前回	34.4	34.5	31.1
	今回	増加 37.7	不変 26.2	減少 36.1
総合建設業		66.7	11.1	22.2
土木工事業	8.3	16.7	75.0	
建築業	30.4	43.5		26.1
各種設備業	44.4		22.3	33.3

【業種別】 増加…総合建設・建築
減少…土木工事・各種設備

【受注状況】 受注残高(前回比) 減少
「多い・適正」割合 (74%) → 72%
「少ない」割合 (26%) → 28%

●施工高前年比「増加・減少」割合と受注状況の推移



企業からのコメント

- ★コロナによって材料が高騰し、普通の建坪の住宅建築でも価格上昇が目立つ。さらに、断熱材の値上げも影響している。
- ★☆リフォーム物件の見積りは多いが、相見積りばかりで、なかなか成約にならない。4月に入り、不動産の問い合わせは少なくなった。(以上総合建設)
- ★建材価格の上昇が止まらない。これまで不要だった建材の運賃まで支払う必要が出てきた。(一般建築)

4～3月の公共工事 (東日本建設業保証取扱分)

長野県の4月～3月の発注合計は、2,010.4億円(前年同期比▲12.6%)となりました。前年比マイナスは「国」の427.4億円(同▲18.4%)、「県」の665.3億円(同▲4.9%)、「市町村」の606.2億円(同▲1.0%)、「その他」の304.8億円(同▲33.5%)です。

北信地区市町村の発注合計は190.4億円(同+26.8%)で、うち長野市は80.2億円(同+16.6%)でした。

●建設業保証取扱分から見た長野県と北信地区市町村の公共工事の状況(2023年3月/2022年4月～2023年3月累計)

(単位=百万円/資料:東日本建設業保証株)

		2023年3月	前年同月比	2022年4月～2023年3月	前年同期比
長野県	国	8,830	+103.0%	42,745	▲18.4%
	県	2,741	▲46.5%	66,525	▲4.9%
	市町村	3,436	+8.4%	60,620	▲1.0%
	その他	1,235	▲25.9%	30,482	▲33.5%
	合計	16,243	+13.5%	201,037	▲12.6%
北信地区	市町村	2,041	+166.4%	19,039	+26.8%
	(内長野市)	713	+72.2%	8,018	+16.6%

4～3月の新設住宅着工戸数

長野県の4～3月の新設住宅着工戸数は11,988戸(前年同期比+1.5%)でした。持家が6,443戸(同▲10.7%)、貸家が3,353戸(同+19.3%)、分譲が2,150戸(同+25.1%)、給与が42戸(同▲39.1%)です。

北信地区の4～3月の新設住宅着工戸数は3,322戸(同▲1.4%)でした。持家が1,657戸(同▲18.1%)、貸家が872戸(同+9.5%)、分譲が790戸(同+49.3%)、給与が3戸(同▲85.7%)です。

●北信地区と長野県の新設住宅着工戸数

(2023年3月/2022年4月～2023年3月累計)

(資料:長野県)

		持家	貸家	分譲	給与	合計
北信地区	3月	75戸	20戸	50戸	0戸	145戸
	(内長野市)	49戸	10戸	31戸	0戸	90戸
	前年同月比	▲26.3%	▲33.3%	+8.7%	—	▲19.1%
	(内長野市)	▲31.9%	▲58.3%	±0.0%	—	▲29.1%
	4～3月	1,657戸	872戸	790戸	3戸	3,322戸
前年同期比	▲18.1%	+9.5%	+49.3%	▲85.7%	▲1.4%	
長野県	3月	407戸	156戸	130戸	2戸	695戸
	前年同月比	+7.1%	+28.9%	+12.1%	+100.0%	+12.5%
	4～3月	6,443戸	3,353戸	2,150戸	42戸	11,988戸
前年同期比	▲10.7%	+19.3%	+25.1%	▲39.1%	+1.5%	

卸小売業

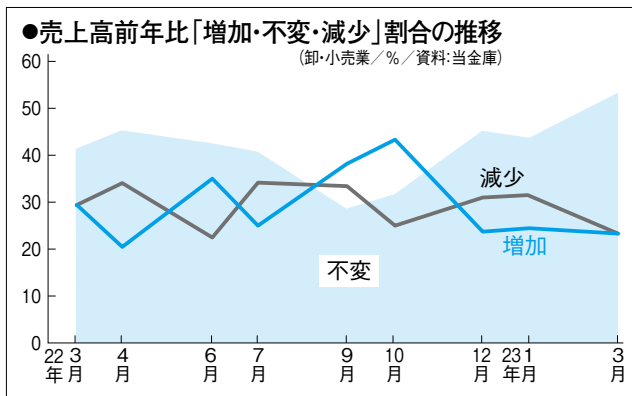
卸売業、小売業

「売上高」卸売が増加、小売は横ばい

卸小売業の売上高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(23%)が1割減少、「減少」割合(23%)が8割減少、「不変」割合(53%)が10割増加し、全体として売上げは増加の状況です。

●売上高前年比「増加・減少」割合(%)

卸小売業	前回	24.4	43.9	31.7
	今回	増加 23.3	不変 53.4	減少 23.3
卸売業		29.4	41.2	29.4
小売業		19.2	61.6	19.2



【業種別】 増加…卸売業 横ばい…小売業

3月の消費者物価指数(長野市) 2020年基準=100

◇総合指数(確報値)……105.7(19カ月連続プラス)

(前月比+0.2%、前年同月比+3.9%)

上昇…「家具・家事用品」「教養娯楽」「被服及び履物」
「交通・通信」「諸雑費」「教育」「保健医療」
下落…「光熱・水道」「食料」

◇生鮮食品を除く総合指数…105.4(20カ月連続プラス)

(前月比+0.3%、前年同月比+3.8%)

企業からのコメント

☆「インバウンド」が増加している。土産物はそれほどでもないが、飲食の売上が好調。これからのシーズンはさらに期待できそう。(土産物店)

★ありとあらゆる建設用の資材について、仕入価格の高騰が止まらない。(建設資材販売)

☆各種スポーツ大会が開催されるようになり、少しずつ先が見え始めた。(スポーツ店)

★消費動向は、静かに早く変化していると思う。以前は10年ひと昔といていたが、最近3年ほどで様変わりしてきているように感じる。(和洋菓子)

サービス業

サービス、輸送、外食、観光、不動産

「売上高」サービスは増加、輸送・外食は減少

サービス業 売上げ高前年比「増加」割合は21割増加の71%、「減少」割合は17割減少の0%、「不変」割合は5割減少の29%と、売上げは増加の状況です。

輸送業 売上げ高前年比「増加」割合は6割減少の44%、「減少」割合は3割増加の33%、「不変」割合は2割増加の22%と、売上げは減少の状況。タクシーは増加、運輸は減少です。

外食業 売上げ高前年比「増加」割合は1割減少の88%、「減少」割合は13割増加の13%、「不変」割合は11割減少の0%と、売上げは減少の状況です。

観光(旅館)業 入込数は平均で前月比2割の増加、前年同月比は17割の増加で、宿泊利用は伸びています。

不動産業 需給状況は前回に比べ、「双方手控え・どちらも低調」が2割減少の20%、「引合いやや増加」が23割減少の10%でした。

企業からのコメント

☆★4月から一部の取引先が運賃の値上げに応じてくれたが、まだまだ価格転嫁が出来ていない先が多い。(トラック)

☆マスクの着用が緩和されて以降、夜間のタクシー利用者が急に戻ってきた感じがする。特に週の後半、木曜・金曜・土曜日の売上が伸びている。(タクシー)

☆★高齢の地主が所有する土地の売却相談が目立って増えてきた。(不動産)

●売上高前年比「増加・減少」割合(%)

サービス業	前回	50.0	33.3	16.7
	今回	増加 71.4	不変 28.6	減少 0.0
輸送業	前回	50.0	20.0	30.0
	今回	44.4	22.3	33.3
うちタクシー業		100.0		8.8
うち運輸業		28.6	28.5	42.9
外食業	前回	88.9	11.1	0.0
	今回	87.5	0.0	12.5

人材確保の問題点

「応募者が少ない」60% 「求める人材との差が大きい」30%
 「採用しても定着率が低い」24%

人手不足の原因

「労働人口の減少」46% 「労働者の高齢化」42%
 「3K職種からの敬遠」30%

企業アンケート
 「人手不足」②
 2023年3月調査

人材確保の問題点 「応募者が少ない」が60%、「求める人材との差が大きい」が30%、「採用しても定着率が低い」が24%、「人材の採用に多くのコストがかかる」が18%、「問題点はない」は12%でした。

人手不足の原因 「労働人口の減少」が46%、「労働者の高齢化」が42%、「3K職種からの敬遠」が30%、「働き方の変化による人材のミスマッチ」が26%、「若者の離職率の高さ」が14%でした。

着率が低い」(24%)、「人材の採用に多くのコストがかかる」(18%)が2ケタとなり、「問題点はない」は12%でした。

従業員規模で見ると、30人未満は「求める人材かどうか見抜くノウハウがない」(10%)が8割、30人以上より高く、30人以上は「応募者が少ない」(70%)と「採用しても定着率が低い」(34%)がともに13割、「求める人材との差が大きい」(36%)が8割、30人未満より高くなっています。

◇4業種の状況

製造業 「求める人材との差が大きい」(36%)が他業種に比べ最も高くなっています。

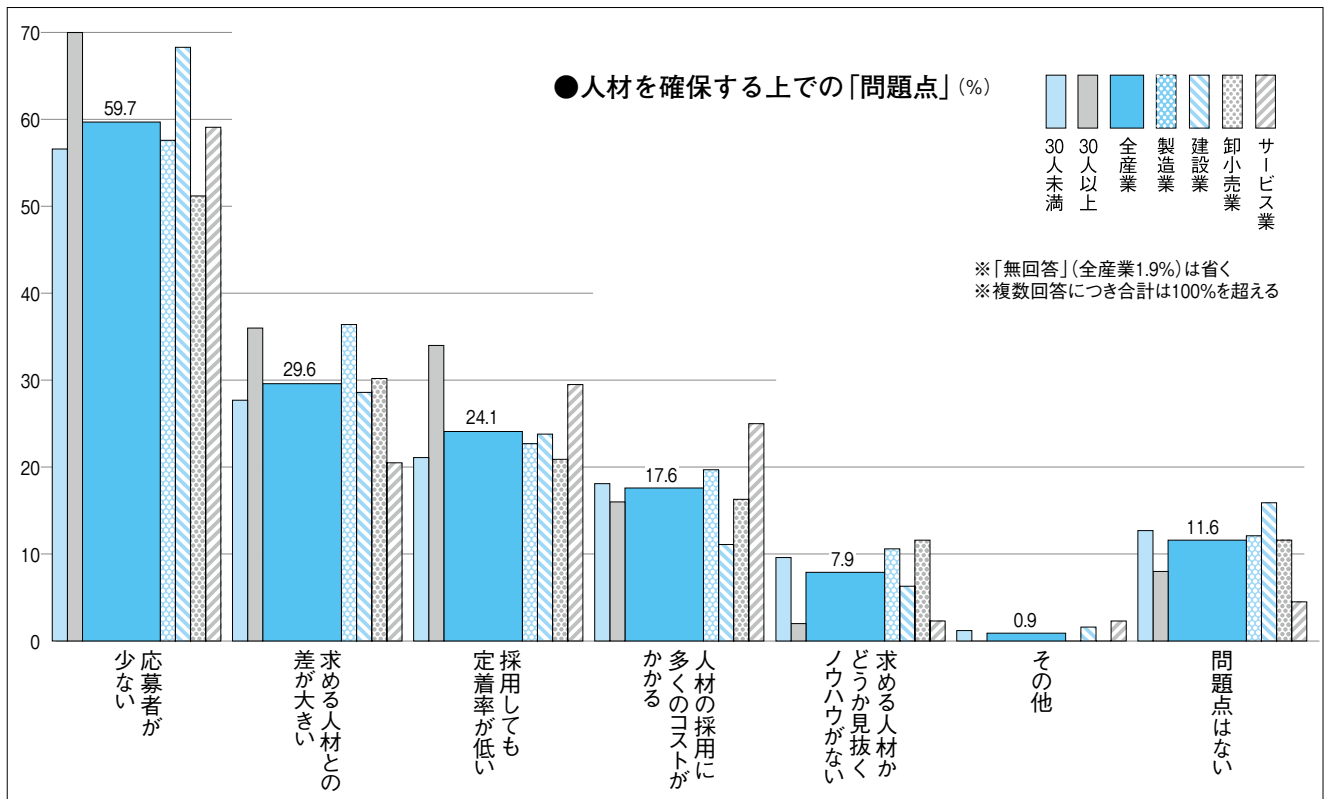
建設業 「応募者が少ない」(68%)と「問題点はない」(16%)が他業種に比べ最も高く、「人材の採用に多くのコストがかかる」(11%)は他業種に比べ最も低くなっています。

卸小売業 「求める人材かどうか見抜くノウハウがない」

人材確保の問題点

- 「応募者が少ない」60%
- 「求める人材との差が大きい」30%
- 「採用しても定着率が低い」24%
- 「人材の採用に多くのコストがかかる」18%

「人材を確保する上での問題点」を聞きました。
 「応募者が少ない」(60%)がトップで、以下「求める人材との差が大きい」(30%)、「採用しても定



がない」(12%)が他業種に比べ最も高く、「応募者が少ない」(51%)、「採用しても定着率が低い」(21%)は他業種に比べ最も低くなっています。

サービス業 「採用しても定着率が低い」(30%)、「人材の採用に多くのコストがかかる」(25%)が他業種に比べ最も高く、「求める人材との差が大きい」(21%)、「問題点はない」(5%)、「求める人材かどうか見抜くノウハウがない」(2%)は他業種に比べ最も低くなっています。

人手不足の原因

- 「労働人口の減少」46%
- 「労働者の高齢化」42%
- 「3K職種からの敬遠」30%
- 「働き方の変化による人材のミスマッチ」26%
- 「若者の離職率の高さ」14%

「人手不足の原因」を聞きました。

「労働人口の減少」(46%)がトップとなり、以下「労働者の高齢化」(42%)、「3K職種からの敬遠」(30%)、「働き方の変化による人材のミスマッチ」(26%)、「若者の離職率の高さ」と「労働条件の高度化」が同率の(14%)、「価格競争による人件費削減」(11%)が2ケタとなりました。

従業員規模で見ると、30人未満は「価格競争による人件費削減」(13%)が9割、「分からない」(8

%)が8割、30人以上より高くなっています。30人以上は「労働人口の減少」(62%)が2割、「コロナ禍による労働環境の変化」(18%)が1割、30人未満より高くなっています。

◇4業種の状況

製造業 「労働人口の減少」(52%)、「労働条件の高度化」(20%)、「価格競争による人件費削減」(12%)が他業種に比べ最も高く、「労働者の高齢化」(35%)は他業種に比べ最も低くなっています。

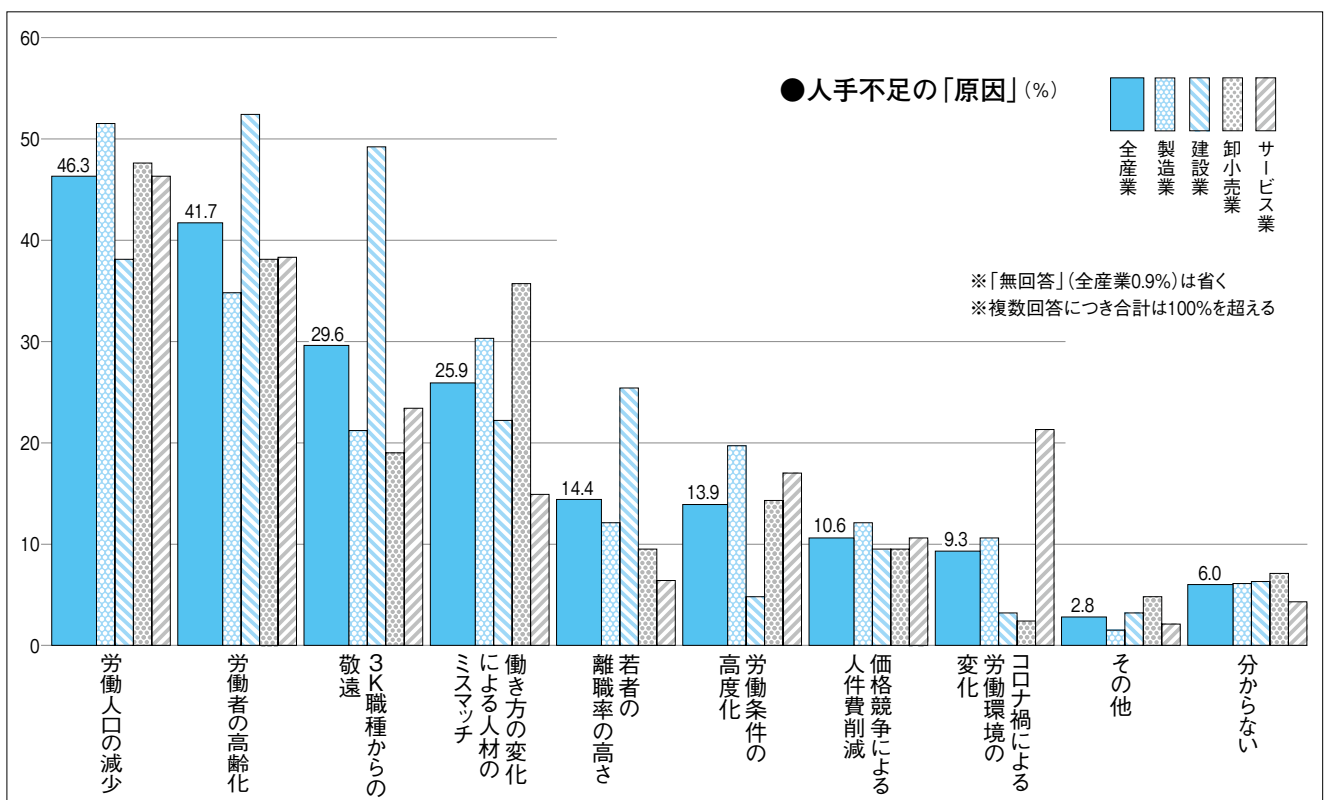
建設業 「労働者の高齢化」(52%)、「3K職種からの敬遠」(49%)、「若者の離職率の高さ」(25%)が他業種に比べ最も高く、「労働人口の減少」(38%)、「価格競争による人件費削減」(10%)、「労働条件の高度化」(5%)は他業種に比べ最も低くなっています。

卸小売業 「働き方の変化による人材のミスマッチ」(36%)が他業種に比べ最も高く、「3K職種からの敬遠」(19%)、「価格競争による人件費削減」(10%)、「コロナ禍による労働環境の変化」(2%)は他業種に比べ最も低くなっています。

サービス業 「コロナ禍による労働環境の変化」(21%)が他業種に比べ最も高く、「働き方の変化による人材のミスマッチ」(15%)、「若者の離職率の高さ」(6%)は他業種に比べ最も低くなっています。

◇次号は「人手不足の対応策」と

「従業員が会社に要望すること」を予定





菌による持続可能な生態系を “循環型農業”の礎に

株式会社 ダイシン

代表取締役 佐藤 修一さま

取締役会長 増尾 茂さま

●創業の経緯をお聞かせください…

1980年代、富山県や新潟県の海岸沿いには、ロシア産の木材を建築用材に加工する多くの製材工場がありました。その際に大量に出る「大鋸屑おがくず」の処分に工場は頭を悩ませていました。

創業者である堤正行は、その光景を見て長野県の“エノキタケ栽培”に使えないかと思い、試行錯誤を重ねて1985年(昭和60)に事業化、日本海に近い豊野町に事務所を構え、株式会社ダイシンの基盤を築きました。

堤は、「当社にとって大鋸屑おがくずは大事な商品との理由からくずではなく“おが粉”と呼んでいました。順調に業績を伸ばしていた2008年(平成20)に堤が急逝。顧問として携わっていた現会長の増尾茂が、堤の「困りものこそ経営資源に…」という理念を踏襲して事業を引き継ぎ、業務の改革を実施しました。

私(現代表取締役)は、金融機関に勤務していた際、取引先としてダイシンの会社の内容や増尾社長(当時)の人柄もよく存じていました。以後、転勤して本部勤務となり数年が経過したある日、増尾社長が私のもとを訪れ「私も良い年齢になったし、後継者になってくれないか」との話をいただきました。急な話であり正直半年間迷いました。継承を決断したのは、仕事柄、将来性のある中小企業が“後継者問題”に悩む姿を間近で見て来た私にとって、親族の後継ではなく、社外からの第三者による継承もできることを知ってもらいたいという気持ちもあり、2017年(平成29)に増尾社長からバトンを引き継ぎました。



増尾茂会長

●業務の概要をお聞きます…

業務は二つあります。一つ目は、かつては“困りもの”だった森林整備の際に出る間伐材を活用し、当社でおが粉に加工して「キノコ栽培用の培地」を作り販売しています。おが粉は栽培業者のキノコの種類毎に木質や粒度を変えて対応すると共に、更には複数種のおが粉をお客様の要望により配合を変えながら、手間をかけたブレンド製品として納品しています。

二つ目は、キノコ栽培後に出る「使用済培地」のリサイクル処理を行い“堆肥”として製造販売しています。この使用済培地の後処理もキノコ栽培者にとっては困りものになっていました。そのまま処分すれば産業廃棄物の扱いとなり、勝手に処分出来ないのです。

当社では製品にするために、使用済培地に酵素の他、稲わら、米粉などの天然素材を混合して複合発酵を繰り返し、完熟の「酵素堆肥」を製造しています。

使用済培地は、中野市界限だけで年間約12万トン出るといわれていますが、当社が受け入れて堆肥などの農業資材に活用している量は約10%に過ぎません。これからはSDGsの追い風を背景にして営業に力を注ぎたいと考えています。

当社は、産業廃棄物になってしまうものを製品に再生させて、最後は良質な土壌改良材とし

て大地に戻しています。私は「これからの事業は時代に乗っていないとダメだと思っています」今の時代は便利な反面、天然資材の枯渇などさまざまな問題に直面しており、循環型社会への転換が急務になっています。当社は未来に向け“循環型農業”をはじめとした新しい分野の事業の発展に向けて取り組んでいきたいと思っています。

●今後の夢をお聞かせください…

当社は、今秋に創立40周年を迎えます。キノコ産業は著しい速さで減少傾向にありますが、全く無くなることはないでしょう。しかし、会社を更に持続させていくために、従来の事業を基盤に、新時代にチャレンジする必要が経営者に求められていますので、現在色々な事業展開を模索しているところです。

また、中小企業の多くは、後継者がいなくて廃業する企業が年々増えてきております。ですから、生き残っていくための手段として、当社は異業種企業との“連携協定”を進めていこうと考え

ています。これは、当社にはないノウハウ(ストロングポイント)を持っている企業と連携を強化し、お互いがメリットを享受出来るようグループ化を進めていく仕組みづくりです。M&Aのように勝ち組と負け組になることとは違います。

その一つとして、近時、物流会社と“業務委託契約”を結びました。当社で運びきれないおが粉や堆肥を運搬してもらっています。この契約で、当社としては車輛購入費を始め車輛に係るコスト等に対する投資が不要になるわけです。現在も更に2～3社の企業と連携を図る仕組みづくりを進めているところです。



おが粉の運搬車両



出荷を待つおが粉



おが粉の材料になる間伐材

●事業の概要

創業 1985(昭和60)年
 資本金 900万円
 代表者 佐藤 修一
 従業員 16名(男14名・女2名)
 業務 菌床キノコ用のおが粉および酵素堆肥の製造販売業
 事業所 長野市豊野町川谷931-1

●沿革

1985(昭和60)年 堤正行が創業
 2004(平成16)年 取引先のジェイエエながのサービス社より増尾茂が顧問に就任
 2008(平成20)年 増尾茂が代表取締役就任
 2013(平成25)年 酵素堆肥の製造販売を開始
 2015(平成27)年 自社堆肥を使用した有機に近い農産物の生産販売を開始
 2016(平成28)年 おが粉製造部門「一般社団法人信州木材資源流通機構」を設立
 2017(平成29)年 取引金融機関の長野信用金庫より佐藤修一が代表取締役に就任

北信濃 明治時代の風景

(14) 問御所町・新田町・西後町周辺

長野郷土史研究会会長

小林 一郎



今年度は、明治30年(1897)10月に出版された善光寺周辺の案内書、『善光寺^{ひと}独案内』の挿絵を紹介いたします。すでに活版印刷の時代になっていたのですが、これは長野市で出版された最後の木版本です。今回は長野市の問御所町・新田町・西後町周辺の図です。

中央通り

絵の中央を左右に貫いているのは旧北国街道で、現在の中央通りです。右に行くと善光寺に突き当たります。ただしこの道が現在のように拡幅されたのは大正13年(1924)のことで、それ以前は道が細い上に完全な直線ではないので、善光寺が見通せませんでした。

寺社

裁松院(問御所町)

問御所町の南端にある曹洞宗の寺院です。地元

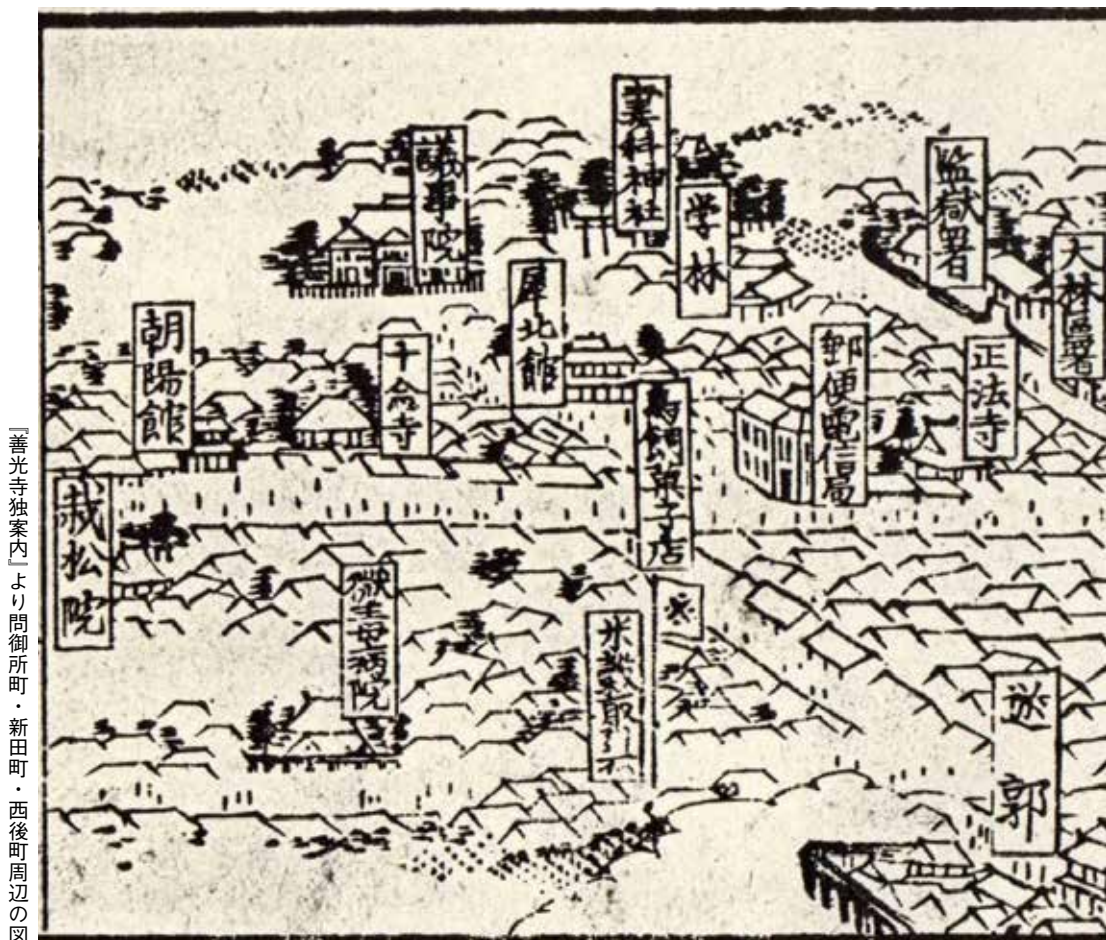
では「しまんりょう」と呼ばれて、親しまれてきました。南八幡川がここで分岐して、この寺が島の上にあるように見えたことから、島の寺を意味する「島の寮」が「島ん寮」に変化したとされています。「傘松」という名木がありました。

十念寺(西後町)

紫雲山頼朝院と号する浄土宗の寺院です。源頼朝が善光寺に参詣した時、紫の雲に乗って阿弥陀如来が出現し、十念を授けたことから、頼朝が寺を建立し、「紫雲山頼朝院十念寺」と名付けたといわれています。境内には、出世大仏を安置する大仏堂があります。

正法寺(西後町)

現在の本願寺長野別院です。鎌倉時代に若槻氏によって創建されたといわれています。江戸時代に現在地に移りました。太子堂があって、信仰を集めて



「善光寺独案内」より問御所町・新田町・西後町周辺の図

いました。本願寺別院となったのは、中央通りが拡幅された直後の大正14年(1925)のことです。

妻科神社(妻科)

善光寺七社の1つで、湯福神社・武井神社とともに善光寺三鎮守の1つです。中央通り西側の新田町や西後町ばかりでなく、北石堂町・南石堂町から長野駅前末広町までの広い範囲が氏子町です。

官公庁など

議事院(妻科)

妻科神社の左(南)にある「議事院」は、現在の長野県議会議員会館の敷地にあった県会議事堂です。明治20年(1887)12月21日に落成して開堂式を行いました。翌22日の未明に焼失し、明治22年(1889)に再建されました。この絵に描かれているのは、この明治22年の議事堂です。この議事堂も大正2年(1913)に焼失し、翌年に再建されています。

郵便電信局(西後町)

長野の郵便局は、明治5年(1872)に大門町に善光寺二等郵便役所が置かれたことに始まります。明治8年(1875)には長野郵便局となり、新町、西町、栄町に移った時期もありました。電信局は、明治11年(1878)の明治天皇の北陸巡幸に合わせて、善光寺大本願の南東角に長野電信分局として開業しました。郵便局と電信分局は明治22年(1889)に合併して西後町に移転し、長野郵便電信局となりました。現在の北野カルチュラルセンターの場所です。

梅毒病院(上千歳町)

梅毒病院(梅毒病院)は、鶴賀遊郭(長野遊郭)の開業に伴い、明治11年(1878)に千歳町に設置された病院です。戦後は保健所となり、跡地は現在は鍋屋田駐車場となっています。

米穀取引所(権堂町)

長野米穀取引所は、明治27年(1894)に権堂町南部に開設されました。明治29年(1896)からは株式の取引も行われ、長野米株商品取引所と名を改め



西後町の十念寺。正面が本堂、右手が大仏堂

ましたが、明治36年(1903)には解散してしまいました。大正6年(1917)に出版された『今昔の長野』によれば、米穀取引所があった時代の権堂は、鶴賀遊郭ができて権堂のにぎわいがそちらに移った後の、「第二の光明時代」だったということです。

商店と旅館


朝陽館(新田町)

現在も朝陽館荻原書店として営業する、明治時代から続く老舗の書店です。この絵に特別に登場しているのは、この『善光寺独案内』に広告を載せているからでしょう。広告は「新田町西側荻原氏、学校用具販売」と書き、にぎわう店頭を描いた「朝陽館書籍塵之図」を載せています。

犀北館(県町)

現在の「THA SAIHOKUKAN HOTEL」で、県町通りから議事院に向かう道の角にある旅館です。県町通りを北に上れば、現在の信州大学教育学部東端にあった旧県庁に突き当たります。この立地を考慮して明治23年(1890)に開業しました。県庁が中野から長野に移った時に、中野から一緒に移転してきた旅館です。

6月号は「権堂町・大門町・旧県庁周辺」の予定です。

この頁は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます [長野信用金庫](#) すかい 

◆コロナ禍で「参考とする重要な情報」

「国の対策内容」38% 「新規感染者数の推移」37%
 「県や市の対策内容や呼びかけ」37%

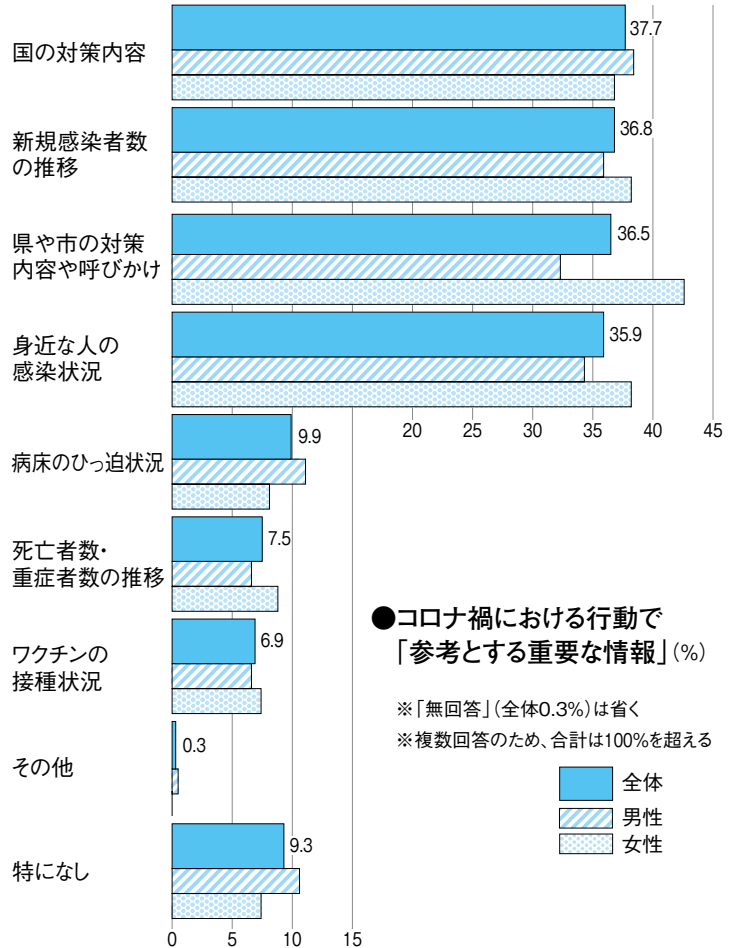
「コロナ禍における行動で参考とする重要な情報は何か」を聞きました。

全体の1～3位を見ると、1位の「国の対策内容」は38%、2位の「新規感染者数の推移」と3位の「県や市の対策内容や呼びかけ」はほぼ同率の37%となっています。

男女別で見ると、男性の1～2位は全体と同じで、3位は「身近な人の感染状況」となり、女性の1位は「県や市の対策内容や呼びかけ」、2位は「新規感染者数の推移」と「身近な人の感染状況」がほぼ同率となりました。

世代別で見ると、10～20代は「県や市の対策内容や呼びかけ」と「新規感染者数の推移」が同率の1位、3位が「国の対策内容」となりました。30～40代は「身近な人の感染状況」「新規感染者数の推移」「国の対策内容」の順となり、50代以上の1位は全体と同じで、2位と3位が入れ替わる結果となっています。

〈当金庫・2023年3月調査〉



●みなさまの税務相談のご案内 [6月]

(注)上の店名は開催場所、下の()内店名はその相談日に含まれる対象店です。

開催日	午前	午後	開催日	午前	午後
6月 2日 金	長池支店 (大豆島支店)		6月 21日 水	権堂支店 (善光寺下支店)	川中島支店 (川中島駅前支店)
6日 火	若槻支店 (城北支店)	東長野支店 (柳原支店)	22日 木	中野支店 (小布施支店)	山ノ内支店 (飯山支店)
7日 水	太子町支店 (須坂・墨坂支店)	豊野支店	23日 金	大門町支店 (桜枝町支店)	飯綱支店
8日 木	石堂支店 (伊勢宮支店)	七瀬支店 (南支店)	27日 火	本店営業部	古里支店 (吉田支店)
13日 火	稲荷山支店 (屋代支店)	上山田支店 (戸倉支店・坂城支店)	28日 水	本 部	
14日 水	篠ノ井支店 (川柳支店)	松代支店 (更北支店)	29日 木	本 部	

